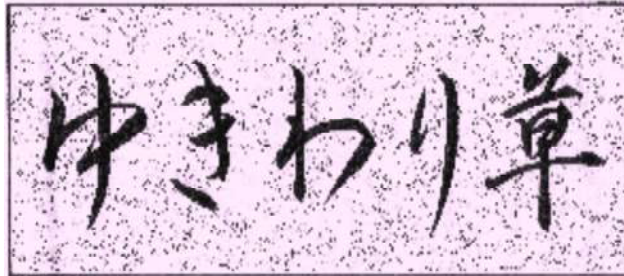


○私達は、地域の人々の命と健康を守ります。  
 ○私達は、健康なまちづくりをめざします。  
**医療や福祉に関する困りごとなど気軽にご相談下さい。**



NO. 119  
 2024年10月1日号  
 発行 舞鶴健康友の会  
 〒624-0912  
 舞鶴市上安199-30  
 TEL 0773-78-3201  
 FAX 0773-78-3202  
 発行責任者 迫田 薫

## 原水爆禁止2024年 世界大会に参加して

びたが残留放射能の恐怖など、これまで苦しい人生を歩んでこられた被ばく者たちは「核兵器のない平和で公正な世界」を望んでおられる。しかし現在、ロシアによってウクライナの侵攻が続けられている。

8月4日～6日の原水爆禁止2024年世界大会に参加させていただいた。初日の開会総会では会場に3200人、オンラインで800人以上と、国内外から多くの参加者がおられた。広島市長のあいさつから始まり、被ばく者や様々な国の方が核兵器の廃絶、平和を願うスピーチがあった。79年前、多くの子どもや市民が無差別に殺された。かろうじて生き延

ふれあいステーション  
 ゆきわり 福意 貴司  
**核兵器依存からの脱却  
 核廃絶こそが平和への道**



核保有国は「核抑止論」を唱えている。それは核兵器の保有により、強大な核の力で脅威を与えることで攻撃を思いとどまらせる、戦争を抑止することができるという考え方である。しかしこれは単に「私たちは核を持っていない」という他国に対する威嚇であり、脅しである。いざとなれば核兵器の使用ができるといった状況であり、これは間違った考え方であることがわかる。

そのため核兵器によって大きな被害を受けた被ばく者をはじめ、平和を願う人たちは「核兵器の依存からの脱却、そして核廃絶」を訴え続けられている。

忘れてはならない

「ヒロシマの声」

動く分科会

碑めぐり・被爆の実相学習会

2日目、私は動く分科会「ヒロシマの声を聞こう」碑めぐり・被爆の実相学習会に

## 秋の共同組織 強化発展月間のよびかけ

舞鶴健康友の会  
 事務局長 稲次豊

「『地域の困った』に寄り添い、地域と職域の両面で健康づくり・つながりづくり・まちづくりを進め、戦争のない平和な日本、安心して暮らし続けられる地域づくりをすすみましょう」

をスローガンに京都市民医連では秋の共同組織強化発展月間（以下、月間）が今年も10～11月にとりくまれます。昨年10月の月間では新規入会者が142人、「いつでも元気」誌新規購読が2部でした。

人との結びつきを大切に  
 「健康で住み続けられるまちづくり」をめざして

友の会は「健康で住み続けられるまちづくり」を目指して幅広く活動しています。そのベースとなるのは人と人の結びつきです。新

型コロナウイルス感染症の流行は、人と人の結びつきを制限せざるを得ない状況をつくりだしましたが、引き続き感染には注意しつつ徐々に従来への活動を再開していきます。

春と秋の日帰りバス旅行は、こじんまりとして参加しやすいと好評です。今年も会員さんへのワクチン接種の補助をまいづる協立診療所でおこなっており、昨年は約350名の方が利用されています。原水禁世界大会には多くのカンパをいただき、平和への願いを託し代表を派遣することができました。季刊誌ゆきわり草は会員さんに親しまれるよう四面の充実に努めています。

会員の皆様には、ぜひお知らせの方をご紹介ください。そして、一緒に健康で住み続けられるまちづくりをすすみましょう。



参加した。義勇隊の碑には多くの国民義勇隊の名前が刻まれている。一家の働き手を失った妻、子どもたちはその後苦しい生活を送ることになった。



の日の爆撃を成功させるために日本各地で何度も爆撃訓練をしていた。米軍の訓練のために何の罪もない皆さんの市民が命を落とすこととなった。さらに驚いたことがある。原子爆弾投下後、原爆障害調査委員会（ABC）が立ち上げられ、被爆した市民の放射能汚染の実態について調査された。

しかし、被ばく者が治療されることはなかった。ABCはアメリカが設立した民間機関であり、治療が目的ではなく核の影響をデータとして集めることだった。すなわち広島、長崎への核兵器投下は攻撃が第一目的ではなく、アメリカによる「人体実験」が一番の目的だったことを初めて知った。

広島県立第二中学校慰霊碑には職員と生徒352名の名前が刻まれていた。爆撃によって大やけどを負い、先生が生徒たちに「川に飛び込め！」と叫んだ。しかし運悪くその日は大潮でちょうど満潮の時間。川は深く飛び込める状況ではなかった。だが川を求めて後ろから押し寄せる人の波に川へ押し出され、多くの死体が川に浮いていたと話されていた。

この日、地元の中学生たちが慰霊碑を磨いていた。忘れてはならないこの歴史を大切に守られているのだと感じた。

### 原子爆弾の投下は

#### アメリカ力による「人体実験」

原爆は地上ではなく地上600mで爆発した。それは一番大きな被害となることを計算されていたのだ。地上の温度は3000℃から4000度、亡くなられた方の三分の一は即死だった。米軍はこ

「核兵器のない世界」と言いながら「核抑止論」に固執する岸田総理、私は原水禁世界大会に参加するまで「戦争はしてはいけない」という思いは持っていたものの、その思いは本当に浅いものだったと反省した。

平和祈念式典で岸田総理は「核兵器のない世界」と述べられた。しかし昨年のG7サミットでは「核抑止」が強調され、また日本はアメリカの「核の傘」で守られ

ているという考えを持っている。そのため戦争被爆国であるにも関わらず、日本は核兵器禁止条約に参加していない。岸田総理の発言には矛盾を感じた。

### 被ばく者たちの思いを語り継ぎ

#### 戦争反対を訴えていこう

今回被ばく者や関係者の貴重なお話を聞き、もつと声を大きくして訴えていくべきものなのだと考えるようになった。

現在被ばく者の平均年齢は85歳。核兵器の苦しみ、悲しみを知る方たちが徐々に減っている。もう二度と戦争を繰り返させないために、被ばく者たちの思いを私たちが語り継ぎ、戦争反対を訴えていきたいと思った。



### 令和6年度 舞鶴市

## インフルエンザ/新型コロナワクチンのお知らせ

### まいづる協立診療所

自治体による定期接種が始まりますが、今春でコロナワクチンの公費接種は終了しました。どちらも、かかった場合の重症化予防が目的です。

#### ◆対象者

☆接種日に65歳以上の方

☆60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能障害などで、身体障害者手帳1級相当の方

実施期間・費用

インフルエンザ：令和6年10月1日～12月30日

自己負担金1,500円

コロナ：令和6年10月1日～令和7年1月31日（予約が必要）

自己負担金3,500円



※自己負担金免除をご希望の方は、舞鶴市保健センターへ郵送する申請書があります。必ず接種前に、申請を行ってください。分からない場合は、職員に相談してください。

※健康友の会の会員割引を同封していますので、肺炎球菌や帯状疱疹などワクチン接種にも役立ててください。

※上記の対象者以外の方は、直接診療所にお問い合わせください。

# 憲法9条をいかに、 対話と外交で平和の道を前へ

第30回平和のための

舞鶴の戦争展

7月27日(土)～29日(月)

名取 哲夫

世界で戦争が起こり、緊張状態が続く中、日本もまた戦争する国になるのではという状況の中で、3日間を通して市内外から1176人の入場者があり、イベント企画やパネル展示を通して、二度と戦争はくり返させないことを考え合う場となりました。

21日(日)に行った、プレ企画「平和のための 講演と文化のつどい」では、「平和のうたごえ」と「中村哲と憲法9条がめざすもの」ーガザ、ウクライナ、アフガンを取材してーと題して西谷文和さんを講



関本さんの講演

した。浮島丸事件のコーナーは「2つの引揚

師に招き講演会を行いました。中村哲さんの行動を通して、平和を守る道とは何かを教えられました。

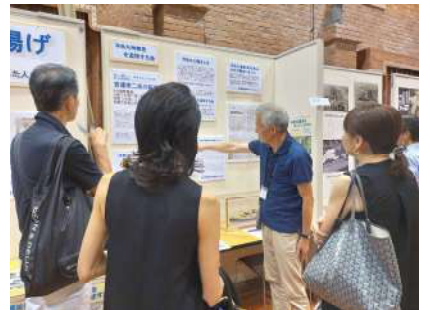
戦争遺品など、

市民目線で展示

アジア太平洋戦争の状況をリアルに伝える、「出征兵士を送る寄せ書き(日の丸)」や「旗」「千人針」などの「戦争遺品」が並べられ、舞鶴の海軍工廠で造られた「特攻兵器ー回天・震洋」や舞鶴に投下された「原爆模擬弾の模型」が展示されました。

「舞鶴空襲」「海軍第三火薬廠」「戦時下の暮らし」のコーナーでは立ち止まって、熱心に説明に聞き入る人たちが多くおられました。

故郷に帰れなかった人たちがマに展示しました。イベント企画では絵本や詩の朗読、特別企画の「敦賀空襲と舞鶴空襲」「舞鶴海軍と第三火薬廠の水道」では市民の抑圧的な生活の様子や多数の学徒や市民の犠牲者を出した状況が語られました。



二度と戦争はくり返させない

特設コーナーでは「日本国憲法施行77年 ふたたび戦争する国にしないために」を設け、自衛隊舞鶴基地強化の状況と日本国憲法をいかに対話と外交による平和の道を進める必要であることを訴えました。

## 平和のうたごえ今こそ出番!

舞鶴くろしお合唱団 団長 伊田 悦子

舞鶴くろしお合唱団は、「うたごえは平和の力」を合言葉に活動しています。基地あるまち、原爆の模擬爆弾が投下され、多くの犠牲者を生み出したこのま

ちに、平和のうたごえを響かせ、毎年行われる平和を願う夏の取り組みにも歌って参加をしています。7月27日から29日に開かれた「舞鶴の平和のための戦争展」にも、28日、今こそ出番!と「平和のうたごえ広場」を開催しました。

今年例年に比べ多くの来場者のみなさんにご参加いただいたと思います。昔なら8月6日は登校日で「青い空は」もよく歌われていましたが、近年そういった登校日もなくなり「平和のうたごえ」に触れることも少なくなっているのではないのでしょうか。

夏には、こういったうたごえに触れ、あらためて「平和って大事」「平和って素敵」と思いをひとつにしていきたいものです。

青い空は青いままで子どもらに伝えたい：ですよね。



エコネットまいづる

事務局 迫田 薫

背中が焼けるような強い日差し、多発する熱中症、ゲリラ雷雨、線状降水帯で都市機能をマヒさせる程の降水量、新幹線をはじめとする交通マヒ、農業への影響も大きく高温障害や病害虫の発生、その結果令和の米騒動といわれる店頭からコメが消える異変、これら気候変動の影響は日々のテレビや新聞紙上をにぎわしています。夏は暑いものと子供のころから知っていました。

しかし最近の気候変動のものとの異常さは、かつて経験したことのないものです。

気候変動の原因は温暖化ガス

この原因は何だろうか。多くの人々が以前から指摘していたが、地球温暖化ガスの大量排出で地球の温度が上がっていることです。地球の表面を温暖化ガスですっぽりと包んでいる格好。温暖化ガスの排出を減らすために国際的な取り組みとして1997年京都で開催された国連気候変動枠組み条約第



3回締約国会議(COP3)

が開催されました。そこで採択された京都議定書で温室効果ガスの削減が決められ、その後パリ協定に引き継がれました。しかし今日地球全体の平均気温は産業革命時から最近では1.5度以上超えて上がっておりさらなる温室効果ガスの削減が求められています。大量に排出してきたのは石炭の燃焼であることから、最近では石炭火力の削減が課題となつていきます。舞鶴の石炭火電も注目されています。さらに温暖化ガスの問題は発生する国と被害を

最近の気候変動から

再生可能エネルギーの使用を考える

受ける国が別々だという問題があります。

日本の温暖化対策が

進まないわけ

- ① 日本の温暖化対策の問題点は、2030年の温室効果ガス削減目標が基準に達していない。② 2030年の電源構成の計画に石炭火力が残っている。③ 温暖化対策はエネルギー改革に直結するため、大手電力会社、



石油や石炭を売る化石燃料会社、エネルギー多消費企業などの既得権益が大きな反対勢力となつている、などの問題があります。

随分大型の太陽光パネルが並ぶ光景を見ますが、計画通りに買取してもらえないといえます。買取の優先順位があり原発や石炭家電を優先し再生可能エネルギーは買い取ってもらえなく、多くの電力が廃棄されているといえます。何か間違っていると思います。

停電でも快適IIソーラー発電+蓄電池+太陽熱温水器

私たち一人一人は暮らしている中でどう考えたらいいのか。暮らしの中で電気エネルギーの使用を減らすこととともに、太陽光や太陽熱などの自然エネルギーの利用を増やしていくことです。買い取り制度ができたときは買取価格が高かったのですが、今は随分安くなっています。設置費用も当初より安くなったとはいえ、設備投資が必要です。

今は売電よりも自家消費したほうが有利なようです。家庭用の蓄電池を設置すれば停電の時も電気が使えます。不足したときは電力会社から電気を買ったらいので

す。給湯は太陽熱温水器を設置すれば費用はほとんどかかりません。こうすれば電力会社から高い電気を買わなくても快適な暮らしが継続できます。今のオール電化の暮らしは快適ですがいったん停電になると悲惨なことになるのではと心配しています。あなたも、一度考えてみませんか。

生ごみコンポスト 失敗レポート

舞鶴健康友の会 事務局長 稲次豊

昨年からの活動方針にある「気候危機打開のとりくみ」として、友の会でも脱炭素社会に向けて何かしなければいけないと思いつつ何もできていなかった反省から、まずは自らが実践してみた経験(失敗例)を報告します。

コンポストを手作り!

私は家庭から出るゴミを減らすうと思ひ、簡単そうだとコンポスト(微生物の働きで生ごみを堆肥化する)を作ってみました。お金をかけずにやってみようと思つたので、家にあつたポリペール(実際のものとは異なりますが写真の



ようなもの」とプランターに残っていた土を利用しました。ポリペールにプランター

ターの土をどぼどぼと入れ、そして生ごみを埋めて数日後になくなっていく…、最初は順調そうに見えました。野菜くずなどは、小さく刻んで埋めると良いそうです。人間もよく噛んで食べると消化に良いので同じですね。

### 順調にたい肥が出来ていたのに

虫や悪臭が：

直接的な原因ではないかもしれませんが、魚の残りを埋めた頃から風向きが変わりました。とにかく悪臭がただよいはじめました。悪臭が出るとコバエが寄ってきてます。ネットで対策を調べてみると、発光促進剤を入れて内部の温度を高くするとよいとありました。早速、発光促進剤を購入し（これだけお金をかけました）、近くの精米所からぬかをもらってきて混ぜて投入してみました。すると土から湯気がでるくらいにほかほか暖かくなりうまくいったような気がしていました。コバエはいなくなっただけですが、それでも臭いは消えません。ドブのような臭いがするので、使用していたペールは深く、がんばって



混ぜ返していたのですが下の方向にいくほど強烈な臭いがします。結局は水分量が多すぎて、ポリペールなので下にたまってしまい腐敗菌が増殖していたようです。

### うまくいくポイントは水分調整？

うまくいくポイントは水分調整？ うまくいくポイントのひとつは水分調整で、多すぎても少なすぎてもうまくいかない。ポリペールのような密閉した容器では、特に水分調整が難しいということのようです。簡単そうだと気軽にはじめてみましたが、なかなか奥が深いです。今は一旦休止しています。

### 地球環境に良いこととしてますか？

小さなことでも教えてください！ 一時うまくいっていたときは地球環境にも良いことをしているし、生ごみがなくなっているのを見ると微生物ががんばって分解してくれているのだと、目には見えないペットを飼っているような気がして楽しかったです。

会員の皆様から「すでに私もこんなことを実践しています」「今後こんなことにとりこんでみたいと思います」といった投稿を期待しています。ゆきわり草で交流ができ、少しでも脱炭素社会の実現に向けて前進できればいいなあと思います。

## 高齢の会員さん宅に

### 電話訪問

地球温暖化による気候変動で、今夏は特に7月から真夏の暑さが続き、早くから熱中症が心配されています。

友の会では、世話人で手分けして80歳以上の高齢の会員さんを対象に、安否確認と熱中症予防の注意喚起の為に電話訪問をすることを決めました。固定電話のない家庭も増えていて、お話しできたのは101世帯でした。

### 自宅は暑い

クーラーはずっとつけている 民医連のアンケート項目を参考に、クーラーの使用や換気の実施・水分摂取・外出の有無など酷暑の中での生活の様子を伺いました。

やはり家の中は暑く、クーラーはずっとつけて、水分も意識的に摂る、日中は外出を控えるなど気を付けて暮らしておられる様子がうかがえました。特に同居や近所に家族がおられる方は、「息子がクーラーの温度設定をしてくれる」「娘やお嫁さんが近所に来てお世話してくれる」「買物や受診に付き添ってくれる」

## 熱中症 大丈夫ですか？

「デイサービスに行く」「夕方お散歩する」などお元気な方が多く安心しました。

### 独居の方や

### 固定電話のない方の見守り

半面独居の方は、お話できたのは16世帯ですが、お元気では「毎朝お散歩する」「近所の人と話をする」という方もおられました。中にはお耳が遠くお話できなかった方や「どっことも悪い…もう切るで」「誰も来ない…」など心配な方もおられました。

定期受診や介護サービスを受けておられる方もいらっしやると思いますが、固定電話のない世帯では電話での安否確認は難しくなっています。

今回の電話訪問では、急を要する事例はなかったのですが、コロナ感染が続いている中でどうやって見守っていくのか喫緊の課題です。

地域の高齢化が急速に進む中、行政や社会福祉協議会、民生委員、地域ボランティアなどが連携してきめ細かく見守っていくことが大事と改めて思いました。



シリーズ  
**近代化遺産・第三海軍火薬廠②**

舞鶴工業高等専門学校

教授 牧野 雅司

今回は第三海軍火薬廠の「過去」、誕生から廃止までについてお話ししたいと思います。

1919（大正8）年4月、海軍は神奈川県平塚に海軍火薬廠を開庁させました。この海軍火薬廠は第一（五工場）からなる組織で、1921（大正10）年11月に東京の滝野川に設置された第五工場が爆薬部となり、この爆薬部が1930（昭和5）年3月に中舞鶴の長浜地区に移設されることとなります。その後、1941（昭和16）年4月の制度変更により、舞鶴の爆薬部は第三海軍火薬廠（第一は船岡、第二は平塚）と名前が変わり、以後は舞鶴鎮守府の管下に置かれました。

長浜の爆薬部の施設は、使用される火薬の変更や日中戦争勃

大・改変されていきます。しかし、1937（昭和12）年後半に入ると、滞薬量が増え、周辺施設に対して危険な状態となったため、工場の移転が検討され始めます。

移転先に選ばれたのは、現舞鶴市の東部に位置する朝来地区でした。1939（昭和14）年

発による火薬需要の増大のため、順次拡

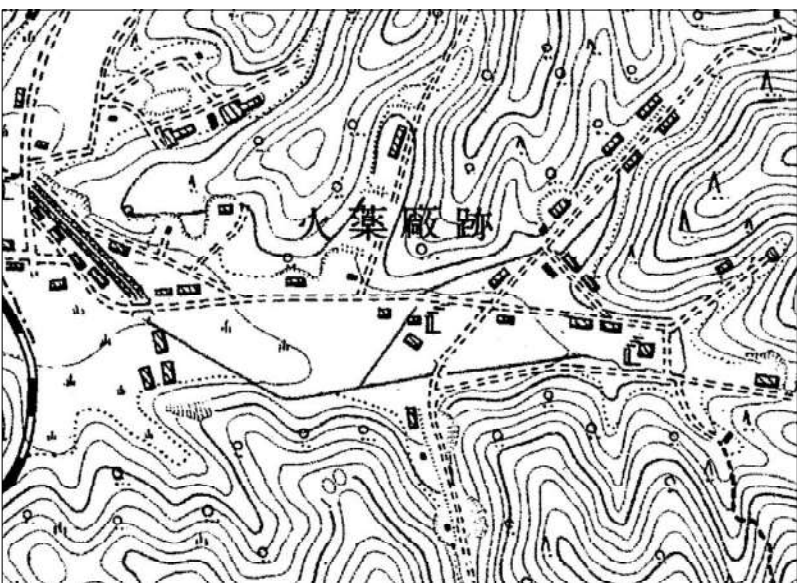
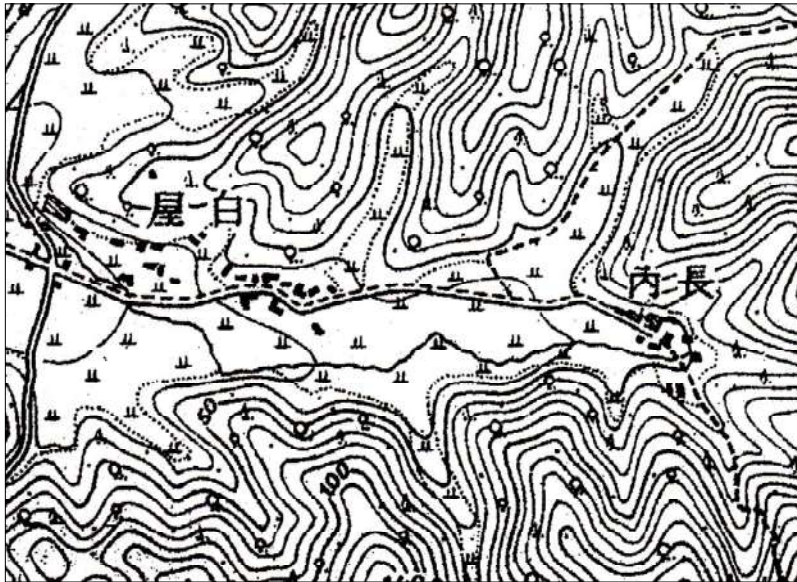
社会に大きな爪痕を残したことも忘れてはなりません。

戦後、1945（昭和20）年

12月1日の海軍火薬廠令の廃止により、第三海軍火薬廠は消滅し、建物や機器、弾薬類は連合国軍に引き渡されます。接収された施設の一部は、アメリカ軍や陸上自衛隊により弾薬集積所などとして転用され、他の跡地にも公園や日本板硝子株式会社

舞鶴工場、そして私の勤務校である舞鶴高専などが設置され、現在に至っています。

さて、今回のお話しは私が明らかにしたことは全くなく、先輩方の研究成果を参考にさせていただきます。次回は、第三海軍火薬廠についてどのような研究成果があり、どのようなことが明らかにされているかを紹介します。



火薬廠設置以前の白屋地区（上）と以後の白屋地区（下）  
 畑や民家が一扫され、火薬廠の施設が建てられていることがわかる

# 平和のために、みんなが集う

## 浮島丸殉難79周年追悼集会 250名の参列者

### 浮島丸殉難者を追悼する会

会長 品田 茂



8月24日。浮島丸が爆沈し、舞鶴湾で多くの人が亡くなられた日を迎えました。

朝8時から、の会場準備は、地労協をはじめとする労働組合、新日本婦人の会、平和委員会、市民など、様々な方々に準備をお世話になりました。

炎天下での集会ですから、参加者の安全を守るために、今年も協立診療所の看護師さんには救護担当としてご参加いただきました。診療所の皆様に、こころより感謝申し上げます。



集会の内容は、朝鮮総連、韓国民団による追悼の辞、京都府、舞鶴市などの献花、そして厚生

平和の声を大きく上げて

11時開式。最初に、犠牲者に思いを寄せ、平和への願いをこめて参加者全員で黙とうしました。つづいて、「追悼する会」の追悼の辞では、平和への思いを述べました。

浮島丸爆沈の経緯と課題、追悼する会のあゆみをふまえて、「浮島丸の大惨事は、植民地支配や戦争さえ無ければ起こっていない」「愚かな戦争は、決して繰り返してはいけない」「そして私たちは、戦争を起こさないために、どうすればいいのかを、世界中の人々と考え、語り合い、平和を求める声を上げていきたい」と結びました。

労働大臣からのメッセージ披露、追悼歌斉唱です。

集会には、舞鶴市民、舞鶴市の平和団体、行政、厚生労働省、国会議員、朝鮮総連、韓国民団、韓国市民など様々な方にご参加いただいています。たいへんありがたいことですし、平和実現のためにみんなが集う、大切な追悼集会となっています。

### 2025年は爆沈から80年

舞鶴市民には「日本海をいつまでも平和の海に」という願いがあります。そして、平和な世界は、現在と過去に誠実に向き合っこそ実現できます。来年は、



アジア太平洋戦争終結から80年、爆沈から80年という節目の1年となります。皆さんと一緒に、平和をつくる一歩を歩んでいきたいと願っています。

### 発行済みの

「ゆきわり草」が見られます

このQRコードを読み込んでいただき、「まいづる協立診療所」のホームページを開きます。その中の、「ゆきわり草掲載」の「詳しくはこちら」を開いていただくと、過去の「ゆきわり草」が掲載されています。



### メールフォームをご利用ください

クイズの答えやみなさんの声が、友の会に届くメールフォームを開設しています。QRコードから入っていたいただき、必要事項を入力後、送信していただくと、友の会のアドレスを入力しなくても届きます。

活用していただいで、多くのみなさんの解答や、日頃思っておられる声を、友の会までお寄せください。診療所に対する、ご意見やご質問でも結構です。



